

平成25年7月31日発行

No.32



ほこた市

議会だより



平成25年6月定例会

提出議案と審議結果.....	P2
平成25年第2回定例会 主な質疑.....	P2~3
主な討論／討論一覧／各議員の賛否／欠席者.....	P4
ここが聞きたい! 一般質問.....	P5~11
主な議会の動静.....	P11
委員会活動報告.....	P12
委員長就任のご挨拶／委員会改選.....	P13
請願・陳情の出し方／傍聴呼びかけ.....	P14
議会報告会.....	P15
傍聴者の声 ／9月定例会の予定.....	P16



～上島西小学校・白鳥西小学校
わがさぎ漁体験学習～

このあと知事と市長を囲んで
おいしくいただきました。

平成25年第2回定例会

〈本会議〉
6月4日～14日

主な質疑

議案第5号

財産の譲渡について

問 オハヨー乳業へ2,732万円で土地

を譲渡するということが、以前この大蔵工業団地の造成や処分に伴っていろいろなやりとりがあり、旧大洋村で緑地帯として持っていたといういきさつがあります。いづろオハヨー乳業から売ってくれという要望がありましたか、その経過等についてお尋ねします。

答 以前より土地の賃

借の更新時からそういう話がありました。具体的には、今年1月に口頭でその話がありました。その後、払い下げが可能か内部で調整しながら

ら話を進めていった中で、

2月22日にオハヨー乳業から払い下げの要望がありました。それに基づいて不動産鑑定及び土地測量等の費用負担をどうするか等を詰めながら、最終的に相手方が負担することになりました。そして、不動産鑑定の結果に基づいて4月12日に払い下げの正式な申請が出てきました。それから、仮契約に持っていくため、内部でいろいろな調整をした上で、最終的に5月15日に仮契約ということになりました。

議案第6号

平成25年度鉾田市一般会計補正予算(第1号)

問 学校建設費で鉾田北中学校校舎改築

工事における年次別の建築割合の変更の理由について伺います。また、1億7,000万円ほど工事費が増額されていますが、その内容について伺います。それから、鉾田北中と統合小学校で併用するグラウンドが狭いといわれておりますが、このグラウンド敷地は、北中学校を建築する工事費で購入する予定になっているのか。あるいは統合小学校の実施設設計が今年度予算化されていますけれども、これから購入する予定なのか伺います。

答

2カ年継続事業での負担割合の変更については、工期等の調整において当初設計よりも7月に発注できる見通

提出議案と審議結果

◎ 全員賛成
● 賛成多数
● 賛成少数
△ 継続審査

平成25年第2回鉾田市議会定例会

条例・規則の一部改正等

- ◎ 専決処分の承認について
- 鉾田市税条例の一部改正について
- 専決処分の承認について
- 鉾田市国民健康保険条例の一部改正について
- ◎ 鉾田市税条例等の一部改正について
- ◎ 鉾田市職員の公益法人等への職員の派遣等に関する条例等の一部改正について
- ◎ 鉾田市議会基本条例の一部を改正する条例について

平成25年度補正予算

- ◎ 鉾田市一般会計補正予算(第1号)
- ◎ 鉾田市水道事業会計補正予算(第1号)

人事

- ◎ 人権擁護委員の推薦について(借宿 栗野 光臣)
- ◎ 人権擁護委員の推薦について(飯名 荒野 圭子)
- ◎ 人権擁護委員の推薦について(徳宿 大津 博史)
- ◎ 人権擁護委員の推薦について(大竹 小松崎 いそ子)

その他

- ◎ 財産の譲渡について
- ◎ 訴えの提起について(2件)



しとなりましたので、負担割合の変更をしております。また、増額については、普通作業員や電工など、いろいろな作業員の労務単価等の急激な上昇がありましたので、増額の予算編成となつてしまいました。グラウンドの8,000平米の予算については、当初からの購入予定となつており、用地購入ということで別に予算を組んでいます。

報告第7号

公益財団法人銚田市健康づくり財団の経営状況について

問 財団の設立に当たつての基本理念と方針はどのようなものかお尋ねします。レストラン、売店収入の売り上げの減少の要因はどのようなものか。収入に対する人件費の比率並びに今後の対応策についてもお尋ねします。

財団の基本方針、理念ですが、住民一人一人の健康への高揚を図るとともに、住民の健康づくりと福祉の向上に寄与することです。レストラン、売店の売り上げが減少した理由として、原発事故等の影響による利用者数の減少によるものと考えています。収入に対する人件費の比率は、自主事業で25.8%です。

答

財団の基本方針、理念ですが、住民一人一人の健康への高揚を図るとともに、住民の健康づくりと福祉の向上に寄与することです。レストラン、売店の売り上げが減少した理由として、原発事故等の影響による利用者数の減少によるものと考えています。収入に対する人件費の比率は、自主事業で25.8%です。



とつぷ・さんて大洋

今後の対応策として、職員給与は、削減するのが難しい部分です。アルバイト等も繁忙期に雇用しますが、必要最低限の人員とすることで賃金等の削減を図っていきます。また、そのほかの経常費用の中でも削減できるものは削減して、健全な財団運営をしていきたいと考えています。

問

ほっとパーク銚田に9,160万円、とつぷ・さんて大洋に6,120万円と、毎年多額の公金が財政支出されており、慢性的な赤字状態となっておりますが、この認識、さらにはいかに脱却を考えているのかお尋ねします。

答

ほっとパーク銚田及びとつぷ・さんて大洋への9,160万円、6,120万円の支出は、それぞれの施設に対する施設管理委託料で

す。この委託料は、あくまでも年度協定に基づく施設管理に対する財団への対価ですので、赤字のための補填とは考えていません。

問

財産増減計算書によると、当期の計上増減はマイナス472万3,155円です。事業収益を見ると、介護予防運動指導事業収益で270万2,000円の減額が大きいと思えますが、その理由についてお尋ねします。また、今後太陽光発電施設を設置してコスト削減に努める考えはあるかお尋ねします。

答

介護予防運動指導事業における前年比270万2,000円減額の理由として、とつぷ・さんて大洋及びともえ荘で行っている介護予防運動のほか、運動指導士が各地区公民館に向き、65歳以上の高齢者を

対象に元気教室を開催していますが、平成24年度は、その開催回数が減つたためです。それから、太陽光発電についても、市所有の公共施設であり、検討はしていますが、再生可能エネルギー関連の補助事業枠が現在のところはなないので、今後の補助事業等を模索していきたいと思えます。



ほっとパーク銚田

主な討論

議案第2号 専決処分の承認について 鉾田市国民健康保険税条例の一部改正について

○反対討論（高野衛）

後期高齢者医療制度は、さまざまな矛盾を抱えていたため、幾つかの手直しを余儀なくされました。その1つが今回提案されている国保の平等割額の軽減制度です。国保に加入する高齢者夫婦世帯で、2008年4月から一方が75歳以上で後期高齢者医療制度に加入し、もう一方が74歳以下の場合、国保に残って国保税を別々に払うことになりました。国保に残った人の国保税の平等割額の負担が大きいため、5年間は2分の1に軽減する措置がとられました。

た。今回の改正内容は、3年間の期間延長と平等割額及び後期高齢者支援金等課税額を4分の1軽減するものです。期間延長は、大変よいことですが、対象者は、昨年よりも1世帯当たり年7,000円負担が増える結果となります。高齢者の医療費負担は限界にきていることや、年金の支給額が2年連続引き下がっていることなどを考えれば、高齢者の負担増とならないように市が負担すべきと考えます。それらの対応がないことから、本案に反対します。

○賛成討論（倉川陽好）

今の鉾田市の現状について、国民健康保険における一人当たりの医療費で見た場合に、まず、茨城県は全国でも沖縄県に次ぐ下から2番目の低さであります。さらに、その中でも鉾田市は、「いのちとくらしの先進都市」を目指して進めている成果もありません。茨城県内の44市町村の中でも42番目と医療費は非常に低い状況であります。また、高齢者の医療費の削減ということですが、やはり医療機関にかかる高齢者自身が自分の負担をしなければ鉾田市の国民

健康保険はやっていけないと思えます。市民の皆さんが安心して国民健康保険に加入できるようにするのが市の役目であり、国の税制改正に合わせて条例改正をしなければならぬ場合、万が一赤字が出た場合はどこが負担するのかなど、いろいろな課題もありますので、そのようなことも勘案しなければならぬと思えます。これらのことを考えながら、市民の皆さんが安心して医療機関にかかるよう健全財政に取り組み執行部の提案に対し、賛成の意を表します。

本会議及び常任委員会欠席者

第2回定例会

6月4日	本会議	飯塚 幸右衛門
6月6日	本会議	江沼 久男 飯塚 幸右衛門 井川 茂樹
6月7日	本会議	江沼 久男 飯塚 幸右衛門
6月10日	総務企画常任委員会	江沼 久男
6月11日	経済建設常任委員会	飯塚 幸右衛門
6月14日	本会議	飯塚 幸右衛門
	総務企画常任委員会	飯塚 幸右衛門
	厚生文教常任委員会	江沼 久男

※委員会改選(6月14日改選)に伴い所属変更

平成 25 年 第2回鉾田市議会定例会 討論一覧

議案第2号 専決処分の承認について鉾田市国民健康保険税条例の一部改正について			
反対	高野 衛	賛成	倉川 陽好

各議員の賛否（賛成反対が分かれた議案のみ掲載）

議 案 名	根 寄 眞	小 沼 幸 義	出 沼 丈 夫	小 川 一 彦	水 上 美 智 子	入 江 晃	江 沼 久 男	小 沼 俊 秀	飯 塚 幸 右 衛 門	岩 間 勝 栄	畠 長 弘	井 川 茂 樹	米 川 宗 司	菅 谷 達 男	友 部 政 徳	山 口 徳	栗 田 洋	田 口 清 一	堀 田 正 衛	高 野 衛	石 津 武 吉	倉 川 陽 好	採 決 結 果
専決処分の承認について 鉾田市国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	●	●	○	承認

○：議案に対して賛成 ●：議案に対して反対 議：議長 欠：欠席





学校統合

倉川 陽好 議員

問 現在、鉾田北中学校区の小学校が統合に向けて進められています。東日本大震災等の復旧復興に向けての財政問題等を考えると、大洋、旭地区では、新設ではなく、現在ある学校を活用するというのも考えていく必要があると思えますが、市の見解を求めます。

答 【教育部長】鉾田市立学校施設整備計画の基本方針の一つに、整備計画が長期にわたることから、さらなる少子化が進行した場合は、隣接の学校間にも、新しい学校が整備されるまでの期間、現有施設を利用した部分的な統合についても検討し、より良い教育環境の整備を図っていくとあります。継続的に学校間の交流活動を推進する中で、地域や保護者からの理解が得られれば、現有施設を利用した統合も検討していかねばならないと考えています。

再質問 統合までの期間が長くなるとすれば、施設の改修についてはどのように考えていますか。また、学童保育の対象者は小学校3年生までとなっていますが、例えば低学年と高学年の兄弟がいた場合、低学年の子どもだけが学童保育に行くと、4年生から上の子どもは行けないということになると、親は結局高学年の子どもの面倒を見ることになります。学童保育を6年生まで延長

答 【教育部長】施設の改修については、改修、修繕が必要な場合には対応していきたいと思えます。また、トイレの改修については、ポータブル簡易トイレ等を導入して、洋式トイレに対応していきたいと考えています。学童保育については、現状のまま進めていきたいと思っていますが、状況を見て改善していきたいと思えます。

ここが聞きたい!! 一般質問

12人の議員が一般質問

議員名	質問事項
倉川 陽好	1. 学校統合について 2. 市長立候補とmanifestoについて 3. 地域コミュニティーについて 4. 介護保険について 5. 通学路の維持管理（歩道）について
水上 美智子	1. 災害時の対応について 2. 防災・減災対策について 3. 協働のまちづくりについて 4. 予防接種助成について
小川 一彦	1. 鉾田北中学校校舎改築工事について 2. 防災計画について
石津 武吉	1. 道州制に対する評価について 2. 人口減少と復興推進について 3. 大洋地区への放射能測定固定ポストの設置の件について 4. 耕作放棄地と農地集積について 5. 踏線橋の老朽化対策について
出沼 丈夫	1. 外周道路の街路樹について 2. 学校のトイレについて 3. クリーン作戦について
入江 晃	1. 中学生までの医療費の無料化について 2. 副市長の不在について 3. 商工観光課について 4. 農林漁業の新規就業を促進する支援事業について
根 崎 眞	1. 庁舎活用について 2. 鉾田市中心市街地の復興について 3. 環境学習施設エコハウス、また周辺環境について
米川 宗司	1. 環境衛生組合について 2. 合併特例債道路について 3. 県道、下太田・鉾田線について 4. 旭スポーツセンターについて
畠 長弘	1. 鉾田北中学校新校舎について 2. 市内の小学校の統合について 3. TPP交渉参加と本市の基幹産業の対策について
高野 衛	1. 地域防災計画について 2. 再生可能自然エネルギー導入促進について 3. 体罰根絶について 4. 小中学校へのエアコン設置について 5. 公害防止について 6. 巴川の河川改修と橋への歩道設置について
小沼 幸義	1. 大洗鹿島線の歩道橋について 2. 神社の路上における木の枝について
菅谷 達男	1. ふるさと創生事業基金の活用について

ホームページで 一般質問の会議録が見られます

市のホームページで、本会議の会議録を公開しています。

①鉾田市のホームページへアクセスする。

アドレス <http://www.city.hokota.lg.jp>

②市ガイド内の「鉾田市議会」をクリックする。

③会議録をクリックする。

なお、今定例会の会議録公開は、9月頃の予定です。

本会議の会議録（冊子）は、市立図書館で閲覧できます。

鉾田市役所ホームページ

検索



鉾田北中学校 校舎改築工事

小川 一彦 議員



防災・減災対策

水上美智子 議員

問 国が2012年度補正予算と2013年度予算で老朽化した社会インフラの維持、補修を進める予算を確保したことを受けて、全国で道路や橋などの総点検がスタートしました。本市における鹿島臨海鉄道に架かる跨線橋の修繕計画について伺います。

答 【建設部長】市が管理する橋長15メートル以上の道路橋に関しては、現在橋梁長寿命化計画を策定中で、7月末には完成する予定です。鹿島臨海鉄道に架かる跨線橋についても、その計画の中に位置付けてあります。修繕等については、策定した計画に基づき、平成26年度より優先順位の高いものから順次着手していきたく考えています。

再質問 現在鉾田市内の鹿島臨海鉄道に架かる跨線橋は何力所あるのか、また、橋の修繕方法を対症療法型から予防保全型に転換した場合、維持管理費がどのくらい抑えられ

るのか伺います。鹿島臨海鉄道に架かる跨線橋についても、その計画の中に位置付けてあります。修繕等については、策定した計画に基づき、平成26年度より優先順位の高いものから順次着手していきたく考えています。

再質問 現在鉾田市内の鹿島臨海鉄道に架かる跨線橋は何力所あるのか、また、橋の修繕方法を対症療法型から予防保全型に転換した場合、維持管理費がどのくらい抑えられ

るのか伺います。鹿島臨海鉄道に架かる跨線橋についても、その計画の中に位置付けてあります。修繕等については、策定した計画に基づき、平成26年度より優先順位の高いものから順次着手していきたく考えています。

答 【建設部長】鹿島臨海鉄道に架かる跨線橋は24橋です。修繕費用については、修繕計画を策定中であるため概算ですが、対症療法の場合、105億円ほど掛かるところを、予防保全法の場合、50年間の試算で29億8,000万円程度に抑えられると出ています。ただし、予防保全法は、修繕をしながら橋梁の延命措置を図る方法なので、早急に改善すべき橋梁を修繕した後、5年程度の周

期で再点検をして、悪くなっているところは新たに修繕していかなければならないため、全ての橋を予防保全法で修繕したとしても、29億8,000万円で済むというわけではありません。

提言 計画的に橋梁を補修補強し、将来身近に起こるとされている大地震に備え、防災力を強化することは、市民の安心安全を考えれば、喫緊の課題ですので、速やかな対応をお願いします。

問 まず、鉾田北中学校校舎改築工事について、工事の内容を伺います。次に、約8,000平米の土地を購入することですが、これは後々つくる小学校の用地も含んでいるのか伺います。

答 【教育部長】まず、鉾田北中学校改築工事について、建物の構造は鉄筋コンクリート3階建てで、延べ床面積は5,299平方メートル、屋根には太陽光パネル40キロワット分を設置するものです。

再質問 次に、土地の利用予定ですが、サッカー、野球場等を重複したグラウンドのほか、テニスコート、駐車場を計画しており、利用形態としては、中学校、小学校の供用地として考えていま

す。それから、通学区域の広域化により通学時間、距離とも増えるため、スクールバスの導入や、歩道設置を含めた安全対策を講じ、保護者の不安解消に努めたいと考えています。周辺環境整備については、危険箇所点検や、バス、自転車、歩行者、通勤や送迎による車両、行事開催時の駐車場の整備と安全確保が重要であると考えています。具体的には、小学校統合推進委員会専門部会の一つに通学

再質問 通学路も拠点と徐々に整備すべきと思いませんか、狭隘なところがあれば、学校開校と同時に拡幅してはいいかがか。

答 【教育部長】新しくできる小学校について、通学路の危険箇所等の調査をしなければならぬと思っていますので、建設部、県の土木事務所、警察等の協力を得ながら実施していきます。

部会がありますので、それぞれで検討していく予定です。



外周道路の 街路樹

出沼 丈夫 議員

問 畑田信号の十字路から塔ヶ崎カスミ前の十字路までの外周道路には街路樹がおよそ650本植えられています。そのうち木がなくなっているところが約100カ所あります。枯れ木も30本ほどありました。非常に荒れてひどい状態のまま放置されていると思われませんが、市としては、どのように考えているか伺います。

答 【建設部長】この外周道路については、茨城県管理の道路のため、県の銚田工事事務所に確認したところ、倒木の危険があるものについては、伐採処分することに対応しているとのことです。雑草に関しては、道路除草工事を毎年2回、7月と10月ごろ行っており、その際にあわせて実施していくとのことでした。

再質問 外周道路は銚田市の顔であり、他県などからもいろいろな人がこの道路を利用すると思います。雑草が生い茂り、また枯れた木もそのままになっていますが、市ではどのように対処する考えなのか、伺います。

答 【建設部長】県で管理している道路に関しては、あくまでも県に委任しているところですが、景観的によくないというのであれば、市から街路樹の維持管理や草刈りについて、きれいにしていたかどうか、市に要望することはできると思います。



除草作業後の街路樹



モニタリング ポストの設置

石津 武吉 議員

問 福島第一原発の放射能事故から2年以上経過しますが、まだまだ収束したとは言えず、今もついているような諸問題が噴出しています。このような中、以前から大洋地区においてもモニタリングポストの設置を要望してきました。その後の設置に至るまでの茨城県との折衝など、具体化に向けた取り組みはどのように行ってきたのかお尋ねします。

答 【総務部長】震災前から旭地区の4カ所と銚田地区の2カ所にモニタリングポストが設置されていました。震災後、議員からの要望により県に設置を要請したところ、銚田市の中心地域に測定局がなかったことから、銚田市役所に設置されました。

再質問 場所の選定について、茨城県から市へ事前に設置場所の希望を伝えてあります。モニタリングポストを22カ所増設することになりました。この増設の中で、茨城県銚田合同庁舎の敷地に銚田局が、それから大洋地区の大洋運動場の駐車場に大蔵局が、今年の3月に設置されました。なお、測定値については、測定局の表示盤のほか、6月からは茨城県環境放射線監視センターのホームページで公開されています。

答 【総務部長】設定場所については、県から銚田地区と大洋地区の2カ所に新設したいとの話がありました。設置する条件としては、周辺に大きな建造物がなく、電気が容易に引ける状態であり、公道等に面している場所が理想ということでしたので、諸々勘案した上で大洋地区については、大洋運動場の駐車場に設置場所を決めました。

用語解説
UPZ（緊急時防護措置準備区域）とは
原子力施設からおおむね半径30km圏内で、防災対策を重点的に行う区域。



庁舎利活用

根 寄 眞 議員

問 本庁舎の耐震補強事業の実施計画について進捗状況を伺います。

まず、計画にあたり総合窓口による住民サービスの向上等は考えたのか、また、職員の休息スペースの確保について、どのような考えがあるのか伺います。

答 【総務部長】耐震補強の実施設計については、現在契約して作業を行っており、市庁舎が狭いことと、仮庁舎設置の費用が多額になることから、工

事期間中においても事務ができる、居ながらの補強を考えています。

工法としては、窓枠に鉄骨ブレースをつける鋼管ブレースの補強や、建物の外側に現場打ちのコンクリートで補強する補強フレーム、RCバットレス補強といった工法を採用し、事務室を遮断しない方向で設計協議を行っています。なお、耐震補強計画の適格性については、最終的に第三者機関に審査を依頼することに

しています。また、耐震補強計画にあわせて、トイレの改修、給水設備、エレベーター、自家発電の設置等も検討しています。

総合窓口については、定員の管理上の問題や庁舎スペースの確保の観点から、総合窓口職員を専任で配置することが非常に難しいため、来客の多い市民課、保険年金課、税務課等の部署を1階に配置し、1階全体を総合窓口という考えで、各課が連携し関連業

務の案内をすることで住民サービスの向上に努めています。また、職員の休憩スペースについては、現在は職員休憩室、2階の和室、福祉事務所の休憩室などの活用により対処していますが、耐震補強にあわせて公共下水道へ接続することにより、合併浄化槽を撤去することになるため、これによってできたスペースを利用し、プレハブ等で職員の休憩室を設置することも検討しています。



中学生までの医療費の無料化

入 江 晃 議員

問 今年度より子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌の3ワクチンの費用の9割が国の公費負担となり、定期予防接種になりました。そこで、余った分の予算を中学生までの医療費の無料化に充当することができないか伺います。

答 【市民部長】3ワクチンの接種につきましては、平成22年度から平成24年度における暫定措置として、接種費用の9割が国から国庫負担措置されて

いました。

平成25年度からは、予防接種法の改正により、3ワクチンを定期接種化するとともに、財源についても暫定措置期間と同様に、費用の9割を地方交付税措置するものであり、国庫負担措置額に変更が生じるものではありません。

続いて、医療費の助成を中学校卒業まで引き上げる場合、中学1年生から中学3年生までの対象者が推計で約1,300名おり、そ

の分の年間の医療費助成額としては1,300万円ほどが見込まれます。この財源は、市の一般財源でありまして、税金などを確保する見通しが不確定であるため、継続的な拠出となる大変難しいので、現行の基準を継続していく考えです。また、県への助成拡大については、継続して要望をしていきます。

再質問 未来の子どものため、そして鉾田市のために投資をするという思いで何とか予算を捻出できないか伺います。

答 【市民部長】鉾田市での医療費の助成制度については、平成23年7月から、従来小学校3年生までが助成の対象であったところを小学校6年生まで拡大してから2年も経っていない状況です。さらに、将来交付税が減額される可能性が高いことなどをトータル的に判断して、来年の予算に関して検討します。





銚田北中学校
新校舎

畠 長弘 議員

問 平成27年に新校舎開校が予定されている銚田北中学校校舎の建設は予定どおり進んでいるのか、何人くらいの生徒を見込んだ規模なのか、建設に当たり仮設校舎などが必要になるのか伺います。また、平成28年度にスタートする予定の統合小学校との連携についてはどうなっているのか、お聞きします。

答 【建設部長】下太田銚田線の道路整備については、銚田工事事務所に確認したところ、常磐工

り平成26年9月の工事完了を目指し、10月には新校舎での授業を開始したいと考えています。また、生徒数については、平成30年度、1年生84人、2年生71人、3年生81人、合計238人を予定し、各学年3クラスを計画しています。

次に、仮設校舎については、中学校建設終了後に現在の中学校校舎を解体するため、仮設校舎は必要ありません。小学校との連携については、小学校を中学校

の近隣に建設することで、小中連携を視野に入れた指導体制の構築が可能になり、理科、外国語、音楽など、専科制の積極的な導入を図ることにより、確かな学力を育む教育を推進することができるような施設として考えています。

再質問 小学校1年生から中学校3年生までの児童・生徒が同時に学ぶ施設だということですが、児童・生徒間の体力的な差が大きくなることか

答 【教育長】グラウンディングなど、小学生と中学生が一緒に共用するスペースの使い方も含めて、学校の教職員はもちろん、保護者の方々にも協力していただき、十分に子供たちの安全性の確保に対策を講じていかなければならないと考えています。



県道、下太田・銚田線

米川 宗司 議員

問 県道下太田銚田線について、旭地区の工事が進んでいる状況ですが、メロンロードとの接続はいつごろになるのか伺います。また、用地買収、改良工事と、確実に進んでいるのが見受けられますが、一部の区間に幅杭がおろしてありません。どのような計画なのか伺います。

答 【建設部長】下太田銚田線の道路整備については、銚田工事事務所に確認したところ、常磐工

区及び造谷工区の延長1,800メートル区間を優先に整備を進めていて、工区南側から平成24年度より工事に着手しているとのこと。今年度は引き続き用地がまとまっている区間の工事を進めるとともに、メロンロードとの交差点付近について、用地買収に着手し、事業の早期完成を図っているとのこと。接続時期については、用地等の取得の兼ね合いもあり、明確な返答はいただけていません。

幅杭については、県道下太田銚田線の事業区間に広大な筆界未定地があるため、筆界未定地の土地境界の確定とあわせて幅杭をおろす予定です。

なお、下太田銚田線については、県道の中でも地域間を結ぶ重要路線だということ、市としても、早急に、少なくともメロンロードまでは開通させていただきたくいうに願っています。

再質問 境界杭が打つていないところは筆

界未定だということですが、私もいろいろと調査したところ、旧旭村時代に1筆調査が頓挫してしまつたという話を伺いました。筆界未定地を解消するには、いろいろな困難があるという話も聞いていますが、市と県での今後の対応はどうするのかを伺います。

答 【建設部長】、筆界未定地の解消に向け尽力するとともに、今後も工事事務所と協力し、道路の整備に努めていきます。





大洗鹿島線の 歩道橋

小沼 幸義 議員



地域防災計画

高野 衛 議員

問 飯島地区の小学生の通学路である大洗鹿島線の歩道橋は、大洗鹿島線の開通以来補修工事がされておらず、鉄骨はさび落ち、防護柵の金網は破れた状態です。この歩道橋を通学路としている子どもたちの安全を考えると、一日も早く改修工事をするか、または建て替えをしなければならぬと思いますが、市の考えを伺います。

答 【建設部長】市内の人道橋（歩道橋）に

ついては、大洋地区に飯島と吾妻原の2橋があります。修繕については、策定中の銚田市橋梁長寿命化修繕計画の中でも優先順位が高く位置づけられており、策定後1〜2年以内に修繕を行わなければならないとの位置づけです。

しかし、飯島の人道橋は老朽化によって傷みも激しく、地元区長さんや利用者の方々も心配している状況なので、現状を再度確認して、関係機関と協議し、調

整をしながら進めていく方針です。

再質問 まず金網だけで済ませても、小学校が統廃合する平成33年までの8年間、飯島地区の子どもたちは毎日飯島の人道橋を利用するわけですから、子どもたちが危険な思いをしないように、補修するよりも、一日も早い建てかえに向けて進めていただきたいと思います。考えを伺います。

答 【建設部長】吾妻原人道橋のほうが海に近いため、塩害も受けていて、腐食の度合いが高く危険な状態です。このような箇所については、銚田市橋梁長寿命化修繕計画の完成を待たずに、先行して修繕しなければならぬと考えています。来年からでも調査に入って、2年以内には橋を新しく設置し直すか、修繕で済むのかを検討して、早急に改善できるよう対処する考えです。

問 原子力災害対策において、国は原発から概ね30キロ圏内をUPZと位置付け、避難等の地域防災計画の策定を義務づけています。銚田市の一部は、東海第二原発から30キロ圏内に入っており、人数としては約1万7000人が住んでいます。UPZエリア内の銚田市民の避難は不可能ではないかと思えます。どのよう

答 【総務部長】UPZという30キロ圏内の銚

田市民が一齐に移動することとは、現実的には困難だと思えます。国の原子力防災指針や、茨城県で準備している広域避難計画に基づき、UPZエリア内にある市町村と連動して行わなければならない避難となりますので、今後、県や関係市町村と十分協議していきます。

再質問 原則的には、30キロ圏内の住民は全員移動させるべきだと思えます。事故の状況によっては、市外あるいは県外ま

で避難しなければならぬという状況も出てくるかもしれないかもしれませんし、期間としても、一週間で済むという場合もあれば、数カ月間など長期に渡って避難しなければならぬ場合もあると思います。地域防災計画を作成するに当たっては、常に最悪の事態を想定して、決して机上の空論にならないような計画を考えなければならぬと思えますが、いかがか。

答 【総務部長】まず、30キロ圏内というのは、は、モニタリングポスト等の測定に基づいて、あくまでも避難準備をするエリアであり、全ての人をただちに30キロ圏外へ移動させるという考えではありません。いずれにしても、圏内全員を移動させることが可能な計画を策定することは、交通機関の問題や、受け入れ先の問題を考慮するとかなり困難ですので、国を初め、県や関係市町村と協議しながら、実現可能な計画を作成します。

主な議会の動静

5月

- 14日 鉾田市災害復旧復興対策特別委員会
- 20日 正副議長・正副委員長・会派代表者会議
- 20日 総務企画常任委員会
- 22日 全国市議会議長会総会（東京都千代田区）
- 24日 茨城県市議会議長会正副会長会（水戸市）
- 26日 議会報告会
- 29日 議会運営委員会

6月

- 4～14日 平成25年第2回定例会
- 10日 総務企画常任委員会
- 11日 経済建設常任委員会
- 12日 厚生文教常任委員会
- 14日 総務企画常任委員会
- 14日 経済建設常任委員会
- 14日 厚生文教常任委員会
- 14日 議会運営委員会
- 14日 議会広報編集委員会
- 14日 全員協議会
- 19～20日 鉾田市災害復旧復興対策特別委員会視察研修（宮城県東松島市）

7月

- 1～2日 茨城県市議会議長会視察研修（福島県会津若松市）
- 8日 鉾田市災害復旧復興対策特別委員会
- 19日 県東市議会議長会定例会（行方市）
- 25日 議会運営委員会
- 25日 議会広報編集委員会
- 26日 平成25年第2回臨時会
- 26日 全員協議会
- 26日 原子力施設の安全に関する調査特別委員会



ふるさと創生事業基金

菅谷 達男 議員

問

鉾田市ふるさと創生事業基金条例第1条には、「本市の歴史、伝統、文化、風土を活かした住民の創意工夫による個性豊かなふるさとづくりに資するため、鉾田市ふるさと創生事業基金を設置する」とあります。ふるさと創生事業基金の活用は、住民の皆様方の創意工夫をどのように引き出し、生かしていくのかという点で、行政、そして議会の努力が求められる課題ですが、現在までの基

答

金の活用実績と、今後の活用計画について伺います。
【総務部長】 ふるさと創生事業基金については、平成18年度にアントラーズのホームタウンの出資金として1,000万円、それから平成19年度に旭保健センターの基本計画策定委託料として126万円の2件の基金を活用しています。次に、今後の活用計画については、ふるさと創生事業基金は目的基金ですので、基金を活用する目的に合う事業

再質問

今、地域コミュニティの希薄化が言われている中、どうすれば地域コミュニティを活性化させることができるのか考えています。地域コミュニティから出てくるアイデアに対して、この基金を活用するため、例えば地域コミュニティ活性化プランの作成に取り組んでみるといった考えはあるのか伺います。

答

【総務部長】 ふるさと創生事業基金の活用については、ふるさとの再生事業、それから震災の復興などの中で、この基金の目的に合う事業があれば、さらに活用したいと思いますし、活用のために使途の掘り起こしをしていくことも必要と考えています。
要望 この基金の趣旨に合っているようなものは、どんどん拾い上げて検討していただくように要望します。

委員会活動報告

【鉦田市災害復旧復興対策特別委員会 所管事務調査】

5月14日（火）に茨城県議会における災害発生時の対応について研修した後、鉦田工事事務所において、平成25年度震災復興関連予算における事業計画について説明を受けました。



茨城県議会議場

【鉦田市災害復旧復興対策特別委員会 視察研修】

6月19日（水）、多くの犠牲者を出した宮城県名取市なり関上あが中学校にて献花、翌20日（木）には、航空自衛隊松島基地において、東日本大震災による被害状況等についての説明を受けるとともに、施設の視察を行いました。



宮城県名取市なり関上あが中学校

【鉦田市災害復旧復興対策特別委員会 所管事務調査】

7月8日（月）に潮来土木事務所案内により、鹿嶋市神向寺海岸や小宮作海岸の浸食対策工事などの現地視察を行いました。

※茨城県の平成25年度事業として、上釜地区の海岸浸食防止対策工事が着工されました。



養浜工事が進む鹿嶋市神向寺海岸

委員長就任のご挨拶



総務企画常任委員会

委員長 栗田洋

去る6月定例会におきまして、各委員の推挙により、委員長に就任させていただきました。

本市では昨年度より市総合計画の後期計画がスタートしました。これにより「いのちとくらしの先進都市」の実現に向けた事業が展開されています。本委員会では計画の進展を注視するとともに、所管である地域特性を活かす土地利用の推進、市民と一体となった環境共生社会の実現、税の公平性の確保等の課題を調査・研究して、市民の皆様のご負担に配慮してまいります。



経済建設常任委員会

委員長 畠長弘

この度、委員長に就任した畠長弘です。

大震災から二年が経ちインフラ整備も震災前までに復旧してきました。今年になって水道部も上下水道が一つになり、公共下水道の普及及び舟木農業集落排水も供用を開始し、多くの方々に加入をお願いします。PPP交渉参加となれば、市長が先頭に立って進めているブランドアップ事業に加え、観光課と共にPR活動に努め、委員会一丸となって、頑張つてまいります。



厚生文教常任委員会

委員長 米川宗司

この度の委員会改選により厚生文教常任委員会の配置になり、かつ又、委員長に選任されました。

当委員会は幅広いエリアの中であり、所管に課せられた調査などを委員の方々と共に進め、重責を果たしたいと考えています。今年から学校の統合校舎の建築に入り、早期完成を達成して、次の段階の統合も予定どおりに進めるために、委員会としても努力を惜みず推奨してまいります。

総務企画常任委員会 (8人)

- ◎栗田洋 ○石津武吉
- 水上美智子 飯塚幸右衛門
- 岩間勝栄 山口徳
- 田口清一 倉川陽好

経済建設常任委員会 (7人)

- ◎畠長弘 ○小沼幸義
- 出沼丈夫 小川一彦
- 菅谷達男 友部政徳
- 高野衛

厚生文教常任委員会 (7人)

- ◎米川宗司 ○根寄眞
- 入江晃 江沼久男
- 小沼俊秀 井川茂樹
- 堀田正衛

議会運営委員会 (9人)

- ◎堀田正衛 ○井川茂樹
- 入江晃 畠長弘
- 米川宗司 友部政徳
- 栗田洋 田口清一
- 石津武吉

議会広報編集委員会 (6人)

- ◎倉川陽好 ○水上美智子
- 出沼丈夫 入江晃
- 小沼俊秀 高野衛

◎は委員長 ○は副委員長

各委員会の改選が行われました。
(6/14改選)

鉾田市議会

報告会

議会報告会を振りかえって

議長 山口 徳

鉾田市議会では、平成19年12月に議会基本条例を制定し、「市民に開かれた議会、市民参加を推進する議会」を目指して活動してまいりました。

議会報告会は、市政に関する情報を提供することにも、市政に対する提言などを聴く貴重な機会として、平成21年度から毎年開催しており、今年で5年目を迎えることになりました。

今回の報告会では、まず、3月の第1回定例会で審議した当初予算の審査経過を中心に総務企画常任委員会、経済建設常任委員会、厚生文教常任委員会の各委員長より報告させていただきました。

続いて、原子力施設の安全に関する調査特別委員会、百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会、鉾田市災害復旧復興対策特別委員会の各委員長より昨年度の活動状況を報告させていただきました。

また、当市議会でも、昨年の12月より、会派制を導入しましたので、各会派代表者より今後の活動方針等について報告をさせていただきます。

その後の質疑において、参加された皆様より提言をいただいた貴重なご意見等については、議院内で整理し、議案の審査やまちづくりのための議論・検討に活用させていただきたいと思えます。また、今後は、さらに見直しを行い、内容をわかりやすく伝えることができるよう改善するとともに、より一層市民への情報提供と説明責任を果たしてまいりたいと思えます。

● 執行部に対する要望について

1. (仮称)鉾田文化複合施設について、子どもたちのためにも早期着工を望みます。
2. 女生地区周辺の傷んだ道路について早く直していただきたい。
3. ほつとパーク鉾田に通じる建設中の道路を早期完成していただきたい。
4. 北浦の水質浄化のための啓発活動を行い下水道事業の加入者を増やしていただきたい。

※参加された皆様からいただいたこれらのご意見・ご要望については、執行部に文書にて提出しました。



5月26日(日)に鉾田市役所 2階 大会議室において議会報告会を開催しました。

議会報告会参加者の推移

実施年	会場	参加者数
平成21年	鉾田地区	70人
	大洋地区	18人
平成22年	旭地区	12人
	鉾田地区	15人
平成23年	鉾田地区	29人
平成24年	鉾田地区	11人
	旭地区	39人
	大洋地区	16人
平成25年	鉾田地区	25人
計		235人

たくさんのご意見・ご要望
ありがとうございました。



議会報告会で意見を述べる参加者

傍聴者の声



二重作区
石井 正浩

まず、一般質問の傍聴席が満席なのに驚きました。東京ではまず見られない光景です。聞けばほぼ全員が区長さんで、区長会の申し合わせとのこと、広域自治体ならではと納得しました。気になったのは、議員質疑への答弁で、予算がないが前面に出て、議員を介しての市民要求に対して、実現できるような工夫、研究してみようという姿勢に欠けると聞こえたのは穿ち過ぎでしょうか。また、議案説明での「資料にありますとおり」では、傍聴者には何のことやら分かりませんので、閲覧資料の貸し出しを望みます。

9月定例会日程(予定)のお知らせ

月日	会議内容
9月6日(金)	本会議 開会
9月10日(火)	一般質問
9月11日(水)	一般質問
9月13日(金)	本会議
9月17日(火)	委員会
9月18日(水)	委員会
9月19日(木)	委員会
9月24日(火)	本会議 閉会

※日程は変更になる場合があります。

平成25年第2回(6月)定例会の延傍聴者数72名

掲載写真募集!!

あなたの写真を
議会だよりに掲載しませんか?
詳しくは、議会事務局に
お問い合わせ下さい。
尚、編集の都合上、写真は
縦長にてお願い致します。

編集後記

議員任期も前期が終わり後期に入り、各委員会も交代して広報編集委員会も新しいメンバーでスタートします。6月定例会も終わりましたが、東京での都議会議員選挙を皮切りに、7月以降も参議院議員、茨城県知事、鉾田市長選挙と今年の後半は選挙一色となります。今、消費税問題や社会保障と税の一体改革が、国会で熟議されていますが、ぜひ、国政を担う政治家の先生には、地方で生活をしている国民の目線で働いて貰いたいと切望します。私たち地方の議員も地域の住民の皆様の代弁者として、議会で一般質問の中で声を届けております。また議員には執行権がありませんので、即実行とはまいませんが、提言として発言してまいります。

(倉川陽好委員長記)

委員長 倉川 陽好
副委員長 水上美智子
委員 出沼 丈夫
入江 晃
小沼 俊秀
高野 衛